

## 5. 診 療

### 1) 病院概況

- (1) 本 院 (院長：森山寛、副院長：落合和徳、谷口郁夫、橋本和弘、大水美名子、事務部長：今出進章)
- (1) 病床利用状況  
平成21年度の病床利用率は稼働床1,049床に対して86.3% (昨年比+1.6)、平均在院日数は、12.7日 (昨年比-0.3日) であった。
- (2) 患者紹介率  
平成21年度の紹介率は年間平均で医療法54.4% (昨年比+1.2)、保険法48.8% (昨年比+2.3) であった。
- (3) 初期臨床研修  
平成21年度採用者は医科42名 (内訳：本学卒20名、他学卒22名)、歯科 2 名の計44名であった。
- (4) 行政監査・指導・検査
- ① 平成21年度立入検査 (平成21年10月21日)
  - ② 医療法第25条第3項による特定機能病院の立入検査 (平成21年10月21日)
  - ③ 精神病院等実地指導 (平成21年10月21日)
- (5) 2症例に対して生体肝移植の適否が検討され、移植手術が実施された。  
(当院7例目：平成21年7月24日、8例目：平成21年10月2日)
- (6) 先進医療 (高度医療含む)  
平成21年4月に第3項先進医療 (高度医療) の取扱いの一部が改正された。①②については、平成21年10月1日付、第3項先進医療 (高度医療) より第2項先進医療へ移行され、名称の一部が変更された。
- 1) 新規申請・承認 (承認4件)
  - ① 乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索 (乳腺・内分泌外科)  
平成21年4月1日付承認→平成21年10月1日付、第2項先進医療へ移行
  - ② 悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索 (皮膚科)  
平成21年8月1日付承認→平成21年10月1日付、第2項先進医療へ移行
  - ③ 早期胃がんに対する腹腔鏡下センチネルリンパ節検索 (消化管外科)  
平成21年6月1日付承認
  - ④ 多焦点眼内レンズを用いた水晶体再建術 (眼科)  
平成21年12月1日付承認
- (7) 臨床研究、保険適用外診療 (平成21年度審査状況)  
承認件数：新規申請119件、変更申請 (期間延長など) 64件
- (8) 病院改修について
- ① 病棟整備工事
    - ・ 3 E病棟5306号室の増床 (平成21年6月 3床→4床)
    - ・ 中央棟5階ICUの増床 (平成21年4月～7月 工区を3回に分けて実施)
    - ・ 7 E病棟個室の陰圧化工事 (平成21年9月)
    - ・ 中央棟3階に「心大血管疾患リハビリ室」設置 (平成22年3月)
  - ② 外来整備工事 (インフルエンザ対策として、F棟1階旧ペインクリニック跡地に診察室を設置・平成21年5月)
  - ③ E棟1階・当直室の改修 (平成21年5月)
  - ④ 外来棟4階・病児預かり室「ひまわりルーム」の設置 (平成21年8月)
  - ⑤ 外来棟1階・7番CT室の機種変更に伴う改修 (平成21年9月)
  - ⑥ 外来棟4階・患者支援・医療連携センター拡張 (平成22年3月)
  - ⑦ C棟7階への教育センターおよび訓練施設の移設 (平成22年3月)

- (9) 日本医療機能評価機構による病院機能評価（Ver. 6.0）を平成22年1月20日（水）～22日（金）の3日間受審し、指摘事項もなく認定された。  
 ・認定期間：平成22年2月21日～平成27年2月20日
- (10) 医療安全管理
- ① リスクマネジメント委員会、4病院リスクマネジメント会議、フロアリスクマネージャー会議、医療安全運営会議等を主管し、医療問題発生防止並びに医療安全推進活動を実践した。（通年）
  - ② 発生した医療安全問題について、必要に応じて関係者を招集し、問題点の検証や今後の対策を組織として決定し、実践した。（通年）
  - ③ パソコンによる医療問題の発生源入力システム safe master を利用した問題事例の収集と分析を通じ、再発防止策を立案し実践した。（通年）
  - ④ 基礎研修、一般研修、専門研修の3部門より構成されるリスクマネジメント教育・研修計画を策定し、年度内に一人2回以上の出席を目標に出席ポイント制度を運用した。また、出席時に配布するシールを各部署の一覧表に貼付して管理した。（通年）
  - ⑤ 都内の特定機能病院における医療安全推進対策の向上と病院間連携を目的とした、私立大学病院医療安全推進連絡会議の幹事校を担当し、大学間相互ラウンド、メディエーター研修会、日本航空安全啓発センターの見学等を実施した。（通年）
  - ⑥ システム工学の見地からみた医療問題分析手法について、東大・早大・慈恵共同研究を継続した。（通年）
  - ⑦ 医療安全院内ラウンドを実施した。
    - ・全外来・中央診療部門、病棟、手術部門、診療支援部門対象ラウンド（通年）
    - ・附属病院間の相互ラウンド（各病院訪問、来訪各々1回、計6回）
    - ・私立大学病院間の相互ラウンド（訪問2回、来訪1回、計3回）
  - ⑧ 全ての教職員や委託・派遣職員に対し、携帯版リスクマネジメントマニュアルを配布し、医療安全に必要な事項の周知徹底を図った。（平成21年4月）
  - ⑨ 東京慈恵会医科大学附属病院医療安全管理指針を改訂した。（平成22年6月）
  - ⑩ 東京慈恵会医科大学附属病院医療安全管理部業務運営規則を改訂した。（平成22年6月）
  - ⑪ リスクマネジメント委員会規程を改訂した。（平成22年6月）
  - ⑫ 医療安全推進室運営細則を改訂した。（平成22年6月）
  - ⑬ 東京慈恵会医科大学附属病院リスクマネジメント委員会フロアリスクマネージャー会議運営要領を改訂した。
  - ⑭ 医療安全推進週間を実施した。（平成21年11月）
    - ・患者向けの「安全な医療にご協力いただくために」のリーフレットを改訂し配布した。なおリーフレットに関するアンケート調査を実施した。
    - ・医療安全のシンボル「みどりのリボン」を全ての教職員、学生、委託職員が着用した。
    - ・4病院合同リスクマネジメントシンポジウム等の教育・研修企画を実施した。
    - ・4病院合同災害対策訓練を実施した。
    - ・患者家族、一般市民を対象に市民公開講座「転倒・転落予防のための勉強会」を開催した。
    - ・研修医に対し、これまでに経験したインシデント・アクシデント事例の報告を、医療安全推進週間に行うよう、研修医本人および所属長宛に書面で依頼した。
    - ・医療安全推進活動全般に関する職員からの意見を聴取するために、「ご意見ポスト」を設置した。
    - ・5S活動の診断チェックリストの集計結果を一覧表にして院内に掲示した。
  - ⑮ 医療安全対策を周知徹底した。
    - ・日本医療機能評価機構医療事故情報収集事業「医療安全情報」を周知徹底した。（通年）

- ・抗凝固薬・抗血小板作用一覧表を改訂した。(平成21年5月)
- ・中心静脈カテーテル挿入に関する運用基準を制定した。(平成21年6月)
- ・DVT(深部静脈血栓症)予防アセスメントシート運用マニュアルを制定した。(平成21年6月)
- ・報告すべき項目を定め、特に報告を求める(オカレンスレポート)事例の変更を行い院内周知した。(平成21年6月)
- ・商品名が類似している「タキソテル注」と「タキソール注」について、タキソール注についても一般名の「ドセタキセル注」で記載するよう注意喚起した。(平成21年7月)
- ・口頭指示運用基準を改訂した。(平成21年9月)
- ・指示出し・指示受け・実施システムを制定した。(平成21年9月)
- ・医療機器の保守点検・安全使用に関する管理手順書を改訂した。(平成21年9月)
- ・特に安全管理が必要なハイリスク薬品について表示マークを作成し、保管場所にこのマークを貼付し注意喚起した。(平成21年9月)
- ・身体抑制に関する運用基準を改訂した。(平成21年9月)
- ・医薬品安全使用のための業務手順書を改訂した。(平成21年9月)
- ・チューブ・ドレーン管理基準を制定した。(平成21年11月)
- ・チューブ・ドレーン抜去予防対策マニュアルを制定した。(平成21年11月)
- ・チューブ・ドレーン誤接続予防対策マニュアルを制定した。(平成21年11月)
- ・ルート識別テープ・三方活栓運用基準を制定した。(平成21年11月)
- ・スタットコール(学内救急コール)システムの運用基準を改訂した。(平成21年11月)
- ・救急蘇生器材(救急カート・ボックス・バッグ・AED)管理運用手順書を改訂した。(平成21年11月)
- ・救急ボックスの取り扱いに関する基準を改訂した。(平成21年11月)
- ・救急バッグの取り扱いに関する基準を制定した。(平成21年11月)
- ・救急カート定数表を改訂した。(平成21年11月)
- ・ハイリスク薬取り扱い手順書を制定した。(平成21年12月)
- ⑯ リスクマネジメント委員会規程を改訂した。(平成21年12月)
- ⑰ 医療安全推進室運営細則を改訂した。(平成21年12月)

#### (11) 院内感染対策

- ① 感染対策強化病棟への介入  
ICU、NICUを中心に感染リスクの高い部署に対しデータのフィードバックと改善のための支援を行った。
- ② サーベイランスの実施  
サーベイランスを行い医療処置感染の発生状況の把握とフィードバックを実施した。
- ③ 教育啓発活動  
全職員に対するセミナーを20回、認定看護師オープン講座を6回、各部署別の勉強会を15回開催し、計5428名の参加を得た。
- ④ 抗菌薬適正使用の推進  
カルバペネム系抗菌薬投与例のラウンドを開始し、診療科に対し介入を行った。  
抗菌薬使用ガイドライン(携帯版)を発行した。
- ⑤ 新型インフルエンザ対策  
新型インフルエンザの流行に対し、トリアージ体制、発熱外来、専用病棟、患者と教職員へのワクチン接種などについて新たな体制を整備し運用を行った。
- ⑥ 職業感染対策  
昨年度の麻疹、風疹に引き続き、水痘、流行性耳下腺炎について40歳以下の教職員に抗体価検査、ワクチン接種を行った。

(12) 保険関係承認・届出関係

- ① 地域連携診療計画管理料（追加の都度届出）※脳卒中連携病院の追加に伴う届出
- ② 特定集中治療室管理料（平成21年6月1日）  
※ICU増床に伴う届出
- ③ 血液細胞核酸増幅同定検査、検体検査管理加算、緩和ケア診療加算（平成21年7月1日）  
※医師の変更に伴う届出
- ④ 医療安全対策加算（平成21年7月1日）  
※医療安全管理者の追加に伴う届出
- ⑤ 療養環境加算及び重症者等療養環境加算（平成21年7月1日）  
※室料差額の料金改定に伴う届出
- ⑥ 外来化学療法加算1（平成21年11月1日）  
※医師の変更に伴う届出
- ⑦ 評価療養の届出（平成21年6月10日）  
※産科病床4人床1室の有差額床の届出
- ⑧ 評価療養の届出（平成21年7月1日）  
※室料差額の料金改定  
その他、施設基準に係る定例報告を行った。

(13) 患者支援・医療連携センター

- ① 患者支援・医療連携センターの3部門の名称を変更（平成21年5月）
  - ・在宅療養指導室⇒在宅療養支援部門
  - ・ソーシャルワーカー室⇒ソーシャルワーカー（医療福祉相談）部門
  - ・医療連携室⇒医療連携部門
- ② 広報紙の名称を「つなぐ つながる患者支援・医療連携センターだより」として発刊（平成21年8月）
- ③ 医療連携部門に「がん相談専用電話」を設置（平成21年10月）
- ④ ファックス予約で受診される患者の受付窓口が変更
  - ・11/16（月）よりファックス予約で受診される患者は、初診受付のファックス専用窓口ではなく、直接、受診科に行くことに改められた。（平成21年11月）
- ⑤ 他医療機関へ病病連携アンケートの実施および取り纏め（平成21年9月～平成22年1月）
  - ・取り纏めたデータを後方支援病院リストとして院内配布ならびにイントラネットに掲載
- ⑥ 近隣医療機関へ医療連携強化のための戸別訪問実施（平成21年10月～12月）
- ⑦ 東京都糖尿病医療連携協議会区中央部の事務局を患者支援・医療連携センターが担当（平成22年3月）
- ⑧ 患者支援・医療連携センターの室内拡張工事が行われ、完成（平成22年1月～3月）
  - ・センター内（ソーシャルワーカー部門、在宅療養支援部門）の体制整備づくりの一環などによる拡張

(14) 診療体制の整備

- ① 7E病棟個室5床を陰圧室へ改修し、感染症流行時の対策を行った。（平成21年9月25日）
- ② 大学で契約しているPHS約2,600台を全て新機種へ更新した。（平成22年3月12日）
- ③ 産科病床4室を差額床（平成21年6月10日算定開始）に、個室11室を個室差額床（平成21年7月1日算定開始）にそれぞれ改定した。
- ④ 病棟関連事務効率化検討会発足（平成21年5月11日）  
病棟事務員と業務課入院保険担当者との病棟における事務教務の効率化及び融合を目的に発足する。

- ⑤ 外来関連事務効率化検討会発足 (平成21年12月4日)  
患者サービス向上、患者待ち時間の短縮、医師・看護師の事務業務軽減を目的に発足する。
- (15) 患者サービス
- ① 外来待ち時間調査を2回実施した。  
(初回：平成21年8月7日、2回目：平成21年12月11日)
- ② 入院患者向けフロアコンサート (高木会館1階ロビー)
- ・平成21年7月15日 (水) 午後3時～午後4時、メトロ財団主催 (演奏：東京都交響楽団数名による演奏)
  - ・平成21年11月30日 (月) クーペ&Shifo
  - ・平成21年12月5日 (土) 教職員等による有志
  - ・平成21年12月10日 (木) 原田真二さん
- ③ 患者向け広報誌「すこやかインフォメーション」第19号 (平成21年4月), 第20号 (平成21年6月), 第21号 (平成21年9月), 第22号 (平成21年12月), 第23号 (平成22年3月) を発刊した。
- ④ 「愛宕山みんなの健康教室」を開催した。※NHK放送博物館と共催
1. 日 時：平成21年6月27日 (第16回) 参加者36名
  2. 日 時：平成21年10月3日 (第17回) 参加者45名
  3. 日 時：平成22年3月13日 (第18回) 参加者60名
- ⑤ 患者サービス携帯用ハンドブックの発刊 (平成22年1月19日)
- ⑥ 外来部門サービス改善委員会  
会議を3回開催し、患者満足度調査結果の分析並びに改善 (案) を提案した。
- ⑦ 入院部門サービス改善委員会  
会議を4回、院内ラウンド2回施行し、満足度調査の結果を分析し改善に向けて、平成22年1月12日の答申書を提出。
- ⑧ 平成21年8月30日の衆議院議員選挙に伴う入院患者不在者投票を、平成21年8月26日 (水) を中心に実施し過去最多の164件の申し込みがあった。
- (16) 講演会、シンポジウムの開催について
- ① 初期臨床研修医オリエンテーション
- ・日 時：平成21年4月2日 午前11時～午後12時
  - テーマ：1) リスクマネジメント総論  
2) インフォームド・コンセントについて  
3) 携帯版リスクマネジメントマニュアルの説明
- ② 4病院合同慈恵医大褥瘡セミナー
- ・日 時：平成21年12月7日 午後6時～午後7時35分
  - テーマ：『最新の褥瘡治療』
  - 講 師：杏林大学医学部付属病院 形成外科講師 大浦 紀彦先生
- ③ 4病院合同リスクマネジメントシンポジウム (合計2回開催)
- ・日 時：平成21年7月13日 (月) 午後6時～午後7時50分 テレビ会議システム  
テーマ：近年の高度医療に伴う院内感染対策について (柏病院主催)
  - ・日 時：平成21年11月2日 (月) 午後6時30分～午後8時 テレビ会議システム  
テーマ：患者とのパートナーシップ～医療安全の観点から～ (本院主催)
  - ・日 時：平成22年2月2日 (火) 午後6時～午後7時15分 テレビ会議システム  
テーマ：各病院におけるワーキンググループの医療安全推進活動の報告 (青戸病院主催)
- ④ リスクマネジメント基礎研修会
- ・日 時：第1回 平成21年4月20日 (月) 第2回平成21年5月28日 (木)

第3回 平成21年10月6日(火) 午後6時～午後7時

テーマ：リスクマネジメント総論、携帯版リスクマネジメントマニュアルについて

⑤ 東大・早大・慈恵共同研究発表

- ・日 時：平成22年3月3日(水) 午後6時30分～午後8時

テーマ：1) 共同研究のテーマについて

2) 慈恵大学の医療安全プロジェクト全体像について

3) プロセスフローチャートの基本的考え方

4) プロセスフローチャートの実践例

5) 現在の事例分析の課題とRCA分析との比較

⑥ 新型インフルエンザ対策緊急セミナー

- ・第1回 日 時：平成21年4月30日(木) 午後5時～午後5時50分

テーマ：1) 新型インフルエンザ対策①

講 師：附属病院 感染対策室 中澤 靖 室長

- ・第2回 日 時：平成21年4月30日(木) 午後6時～午後6時50分

テーマ：1) 新型インフルエンザ対策②

講 師：附属病院 感染対策室 中澤 靖 室長

- ・第3回 日 時：平成21年5月2日(土) 午後5時～午後5時50分

テーマ：1) 新型インフルエンザ対策③

講 師：附属病院 感染対策室 中澤 靖 室長

- ・第4回 日 時：平成21年7月15日(水) 午後6時～午後8時

テーマ：1) パンデミック・インフルエンザ

講 師：WHO メディカルオフィサー 進藤奈邦子 先生

- ・第5回 日 時：平成21年9月8日(火) 午後6時～午後7時

テーマ：1) 新型インフルエンザ発生状況と当院の対応について

講 師：附属病院 感染対策室 中澤 靖 室長

⑦ 薬剤・感染セミナー

- ・第1回 日 時：平成21年8月11日(火) 午後6時～午後7時

テーマ：1) ESBL 産生菌とは

講 師：附属病院 感染対策室 中澤 靖 室長

- ・第2回 日 時：平成22年3月11日(木) 午後6時～午後7時

テーマ：1) カテーテル感染の診断と治療

講 師：附属病院 感染対策室 中澤 靖 室長

⑧ 感染対策セミナー

- ・第1回 日 時：平成21年9月18日(金) 午後6時～午後7時

テーマ：感染症診療のロジック－免疫不全患者に焦点を当てて－

講 師：静岡県立静岡がんセンター 感染症科 部長 大曲 貴夫 先生

- ・第2回 日 時：平成21年11月11日(水) 午後6時～午後7時15分

テーマ：1) 手術部位感染対策の意識高揚への取り組み

2) 下部消化管外科手術におけるSSI対策への取り組み

3) ICT介入による整形外科SSIに対する予防的抗菌薬の使用と経済効果について

講 師：1) 附属病院 肝胆膵外科 石田 祐一 先生

2) 附属病院 感染対策室 菅野みゆき 副室長

3) 附属病院 感染対策室 美島 路恵 看護師

⑨ 転倒転落の講習会

- ・第1回 日 時：平成21年5月15日(金) 午後5時30分～午後6時30分

テーマ：明日から実践！ 転倒・転落予防

- ・第2回 日 時：平成22年2月15日（月）午後5時30分～午後6時45分  
テーマ：明日から実践！ 転倒・転落予防
- ⑩ チーム医療構築ワークショップ  
平成21年4月18日（土）午後2時～午後5時30分 参加者105名  
平成21年9月19日（土）午後2時～午後5時30分 参加者124名  
平成22年1月16日（土）午後2時～午後5時30分 参加者109名
- ⑪ 医療機器の安全使用講習会（通年開催）延べ参加者：413名
- (17) 慈恵 ICLS コース、慈恵 BLS コース
  - ① 心肺停止患者に対する適切な救急蘇生の手技教育「慈恵 ICLS コース」（年間5回）  
日 時：平成21年5月24日（日）午前8時30分～午後6時 青戸病院  
日 時：平成21年7月26日（日）午前8時30分～午後6時 本院  
日 時：平成21年9月27日（日）午前8時30分～午後6時 本院  
日 時：平成21年11月29日（日）午前8時30分～午後6時 柏病院  
日 時：平成22年1月24日（日）午前8時30分～午後6時 第三病院
  - ② 初期心肺蘇生術の講習会「慈恵 BLS コース」を年間5回開催した。
- (18) 鏡視下手術トレーニングコース  
鏡視下手術を行う外科系医師の育成、認定を行う独自の制度である鏡視下手術トレーニングコース認定試験を実施した。（STEP1計4回、STEP2計5回）
- (19) 東京都赤十字血液センターによる献血が実施された。
  - ① 平成21年9月2日 献血者100名（申込者数133名）
  - ② 平成22年2月24日 献血者117名（申込者数157名）
- (20) 慈恵医大晴海トリトニッククリニック（所長：阪本要一）  
平成21年度の患者数実績は、1日平均外来患者数139.3人（昨年比-0.9人）、うち健診は27.7人（昨年比+0.5人）である。
- (21) 保険診療講習会の開催
 

1回目	平成21年4月2日	午後1時30分～2時50分	大学1号館6階講堂
2回目	平成22年2月16日	午後6時～7時	中央講堂

(2) 青戸病院（院長：伊藤 洋、副院長：吉田和彦、蔵田英明、事務部長：横山秀彦）

- (1) 病床利用率
  - ① 平成21年度の病床利用率は、稼動床363床に対して87.7%、平均在院日数は11.5日であった。
- (2) 患者紹介率
  - ① 平成21年度の患者紹介率は医療法で46.9%、保険法で45.8%であった。
- (3) 患者サービス
  - ① 平成21年7月1日、診療開始時間を午前9時から午前8時45分に繰り上げた。
  - ② 平成21年10月1日、内視鏡・放射線検査の検査説明窓口を設置し運用を開始した。
  - ③ 平成21年12月12日、教職員有志によるフロアコンサートを開催した。
  - ④ 平成22年3月1日、本館1階フロアにサービスカウンターを設置し、看護部と事務部が協働し更なる充実した患者サービスの提供を開始した。
- (4) 医療連携
  - ① 平成21年4月、東京都からの受託事業である、区東北部糖尿病医療連携検討会の座長（糖尿病・代謝・内分泌内科 蔵田診療部長）及び事務局を継続受託した。
  - ② 平成21年10月、地域の医療機関（6施設）と双方の特徴を活かした医療連携の推進ならびに協力体制の構築を目的として「医療連携に関する覚書」を締結した。
  - ③ 平成22年2月27日、医療連携フォーラム2010を開催した。
  - ④ 平成22年3月、病病・病診連携構築のため江戸川区30医療機関を訪問した。